

子どもの医療費助成制度 納税貯蓄組合事業補助金

次のページは「議案の審議」

賛成少数
不採択

納税貯蓄組合事業補助金の継続について
納税率向上のため継続した活動をすべき

請願の内容

納税貯蓄組合は、納税意識の高揚と市税等の納期内完納を目指して大きく貢献してきており、今後も市の納税率を高めていく上での活動は一層重要であります。また、地域におけるコミュニティ活動の一助としても有効に働いていることもあり、今後も継続して活動を推進していくべきとの理由から、事業補助金の継続を求めるものです。

請願者

奥州市納税貯蓄組合
連合会 会長理事
高野秀雄 ほか4名

付託委員会の結果

付託された総務常任委員会では、「今まで納税組合が果たしてきた役割は大きく、請願の願意は理解できるが、公平感を

持てる施策や事業を検討する時期にきている。」
「補助金の削減や廃止は、納税組合の解体を誘導し市民の納税意識を低下させるものである。」
「行財政改革においては、歳出の削減と同時に収納率の向上を図り、歳入の確保にも最大限努力すべき。」
との意見がありました。慎重

反対討論

※委員長報告「不採択」に対する討論
行政は納税貯蓄組合事業補助金の効果に一定の評価をしている限り、当面、補助金の削減や廃止をせず、官民一体となった自主財源の確保に努力すべきである。

反対討論

行革の進め方に問題がある。補助金の廃止前に納税意識の啓発をどうするか等の代替施策を検討し、どのように徴税業務

重審査の結果、委員会では不採択すべきものと議決しました。

本会議の結果

委員会での審査結果について審議を行いました。審査経過等に対する質疑が行われた後に採決の結果、賛成少数で不採択としました。

を進めていくのかを示すべきである。

賛成討論

今この請願を採択すると、300項目の見直しの制約を受けることになる。

賛成討論

納税貯蓄組合の補助金は、法律を逸脱した形で支出をされている可能性があり、見直しが必要であると考える。

賛否はP15に掲載

年頭のごあいさつ



新年おめでとうございます。

市民の皆様には新たな気持で今年一年の目標を定めた事と思います。何よりも健康で、日々明るく暮らせる事をお祈り致します。

さて、昨年は市議会議員の改選でした。定数を6人減らし、28人の新たな議員構成でスタート致しました。この4年間で、市政運営に大きく関わる事は二つあると考えます。一つは、地域医療の充実であります。金ヶ崎町も含めた胆江広域圏で不足する診療科をなくす事や、この地域で完結できる体制を望むものであります。県立病院、市立病院、個人病院の連携でバランス良い医療体制を模索のため「地域医療調査特別委員会」を設置致しました。二つ目は、ILCであります。この地域への本格決定を見据え、この地域がどのように関われば利益があるのか、そして同時に外国人との共生で新たな文化・風土を築けるのかという観点で「ILC誘致及び国際科学技術研究圏域調査特別委員会」を設置致しました。

今年の大きな課題は、行財政改革であります。優遇されてきた合併特例も、期限切れが近づき、財政難が予測される事から、事務事業の見直しが迫られております。同時に生産年齢人口の減少等に伴う税収減も避けられません。ここは市民一丸となって乗り越えなければなりません。二宮尊徳の言葉に「道徳なき経済は罪悪であり、経済なき道徳は寝言である」とあります。市民皆でバランスの良い感覚を持って乗り越えましょう。

奥州市議会 議長 佐藤修孝